

特定非営利活動法人大阪マスターズ陸上競技連盟

第36回理事会議事概要

- 招集月日 2022年1月11日(火)
- 開催日時 2022年1月22日(土) 13:40~16:00
- 開催場所 大阪市立難波市民学習センター 多目的室(アトリエ)
大阪市浪速区湊町1-4-1 OCATビル4階 (電話) 06-6643-7010
- 理事総数 22人
- 出席理事 20人(本人出席;10人、議決権行使者;10人) 出席監事 1人

会 長 椎木 茂久
副 会 長 赤峰フミコ、山中 保博
専務理事 池上 健三
常務理事 安達 芳恵、井指 康裕、小西 宏之、坂下 勝正、柴田 秀治、
深尾 真美、藤田 幸久、並川 耕土、村井 正信
理 事 大倉 節子、数野 哲也、神谷 亭市、津田 光央、鶴川 久寿、
早川 禎一、松島 忠土、三宅 要、森井 正和
監 事 中澤 武、中島 静一

(注) 氏名の下線は議決権行使者。氏名斜体は欠席者。

■議案の経過要領および議案別議決の結果

第1号議案 2021年度事業報告および活動計算報告について

池上専務理事から、特定非営利活動に係る事業、関係団体に関する事項、社員総会に関する事項、理事会に関する事項、各種届出等および2021年度活動計算報告について説明がなされた。

これらの説明を受けて議長が賛否を諮ったところ、次のような意見・要望がだされた。

- 1月20日に会計監査を行なった。監事として特に指摘事項はないが、駅伝の寄付は駅伝が中止になってしまったので、寄付をした人の意思を尊重するという意味でも繰り越しをするなどの方策を検討すればよいのではないか。また手狭である大阪マスターズの事務所の移転問題も継続しての課題である。

これらの意見を受けて議長が議案についての賛否を諮ったところ、全員異議なく承認可決された。

第2号議案 2022年度事業計画(案)および活動予算(案)について

池上専務理事から、大阪マスターズの組織運営、事業の実施方針および、2022年度の活動予算(案)について説明・提案がなされた。

これを受けて、議長が意見・要望等を募ったところ、次のような意見・要望が出された。

- (1) 池上専務理事より、大会の参加資格を近畿マスターズ会員にするのか、全国に広げるのか意見を求めたいとの発言があった。

- 1. マスターズ陸上競技の精神としては全国どこでも誰でも参加できるということである。(椎木会長)
- 2. 参加資格を広げることはできるが、後になってから参加地域を狭めることは困難である。(池上専務理事)
- 3. 秋以降の大会の参加資格はコロナの感染状況に応じて対応してはどうか。
- 4. 競技会での感染拡大のリスクは低い、全国から参加者がきても感染拡大にはつながらないので全国でよいと思うが、原則近畿マスターズとしてはどうか。
- 5. 参加資格は申込受付の開始時期前に発表してはどうか。
- 6. 下期の大会は夏以降に発表したらどうか。

これらの意見要望を受けて池上専務理事が、原則は近畿マスターズ会員とするが、最終的に申込受付開始時までには再検討し、ホームページで発表するとの見解が示された。

- (2) 池上専務理事より、大会の参加費を1種目3000円、2種目5000円としているがこれについての意見を求めたいと発言があった。過去の例では平均1.6種目のエントリーがあるが、試算をすると、1種目3000円、2種目4000円では大会によっては赤字になる可能性が高いと説明があった。

➤1. 最初の提案とおり、1種目3000円、2種目5000円でいいのではないか。

この意見に賛成の意見が多数であった。

➤2. 選手の皆さんにアンケートをとったらどうか。

- (3) 池上専務理事より、選手権大会にメダルは必要かどうか意見を求めたいとの発言があった。

2021年度近畿マスターズ選手権でもメダルはなく、これを機会に経費もかかり手間もかかるので廃止ということも考えているが、皆さんのご意見をいただきたいとの趣旨であった。

➤1. メダルはモチベーションにつながるのであるほうが良い。

➤2. メダルは出して賞状はダウンロードにするという方法もあるのではないか。

➤3. 手間もかかるので運営側としては、メダルはなくてもよいのではないか。

➤4. コロナ禍の大会実施であるので、一旦はメダルなしにしておいて今後感染状況を見ながら再検討してはどうか。メダルを渡すときに人の接触もある。(藤田常務理事)

これらの意見要望を受けて池上専務理事より、要項発表の段階では詳細を発表せずに、大会申込受付開始前にホームページに掲載することとし、それまでに対応を検討したいとの説明があった。

- (4) その他の意見・要望として

➤1. 前回の理事会で駅伝にチップを使うと高額な費用がかかると聞いたがそれは予算に考慮されているのか、また、予算案では100万円ほどの収益がでるような案となっているが、大阪マスターズは収益事業ではないので、収益が大きくでるという予算でないほうが良いのではないか。参加者の見込み数を減らして、収支トントンくらいの予算であるべきではないか。

これに対し池上専務理事より、駅伝のチップ利用の経費は大きな金額(中止になった第28回近マ駅伝で16万円の見積額)でないことが分かった。また、特定非営利活動法人としては、過大な収益を得ることは本来の姿ではないので、予算(案)については単年度収支でのバランスがとれるよう、参加者数の見込み数の見直しを行い、収支に差が生じ過ぎないように総会までに見直しを検討するとの説明があった。

これらの論議を受けて、議長が、2022年度事業計画(案)および活動予算(案)についての賛否を諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

第3号議案 2022年度通常総会の準備について

池上専務理事から通常総会開催について、準備および総会運営スタッフの割り当てについて説明、提案された。

総括責任者(主)は坂下常務理事、総括責任者(副)は安達常務理事が指名された、また当日分担任についてもそれぞれ指名され、当日出席する役割分担のある理事は10時半に会場へくるとした。

これを受けて議長が、2022年度通常総会についての賛否を諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

第4号議案 常務理事会の報告と常務理事会への委任事項について

池上専務理事から常務理事会報告および、常務理事会への委任事項について説明があった。

これを受けて、議長が意見を募ったところ、特に意見はなく、賛否を諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

第5号議案 その他

池上専務理事から次期役員体制について、中澤監事より就任辞退、また下村、矢代両顧問より顧問就任辞退の申し入れがあったので、次のとおり対応したいとの考え方が示された。

- ① 理事は特に異論がなければ再任とし、中島監事は再任、中澤監事の後任を推薦する。
- ② 名誉会長の熊木利隆、名誉副会長の大橋一男の両氏は再任を理事会として推薦する。
- ③ 名誉顧問の薬師寺茂夫氏、顧問の石田雅幸、北田耕之、七條昌一、竹内 章、福田耕一、松本善一の各氏についても再任を理事会として推薦する

また、会報編集委員の担当を再確認したあと、競技会と研修会の担当については今後打ち合わせを実施しながら決定していきたいと報告・提案があった。

これを受けて、議長が意見を募ったところ、特に意見はなく、賛否を諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。